



CL-1200M



CS-1758



UC-100KMA



CV-100KM

ATEN KVM スイッチと PRIMERGY による動作検証報告

ATEN ジャパン株式会社
技術サポート部

1. 検証概要

ATEN KVM スイッチ、LCD ドロワー、コンバータ、エミュレータと PRIMERGY シリーズとの組合せによる、PS/2 と USB の混在接続による環境下にて動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2006年7月19日 10:00~20:00, 7月20日 10:00~18:00

3. 検証装置

型番	概要
CS-1754	4ポート PS/2・USB 対応 KVM スイッチ
CS-1758	8ポート PS/2・USB 対応 KVM スイッチ
CL-1200M	17インチ LCD コンソールドロワー
UC-100KMA	PS/2 to USB コンバータ
CV-100KM	PS/2 エミュレータ

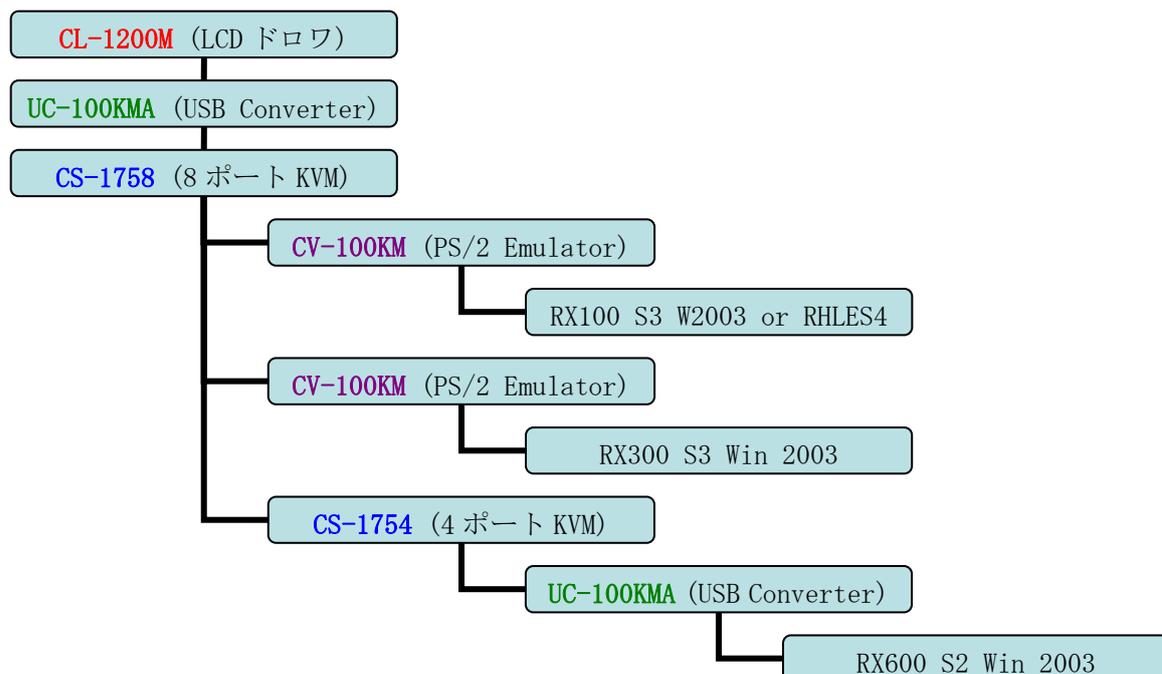
4. サーバ構成

型番	OS
RX100 S3	Windows Server 2003, Standard Edition (32bit)
RX100 S3	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
RX300 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (32bit)
RX600 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (32bit)

5. 検証項目

- A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認
- B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性
- C) LCD 画面の表示
- D) サーバ側接続に USB 対応ケーブル (2L-5302U) または、USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し動作確認
- E) Windows Server 2003 と Red Hat Enterprise Linux、それぞれの動作確認
- F) サーバ側接続に USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し正しくホットプラグ
- G) PS/2 エミュレータ (CV-100KM) 使用時のサーバ無停止による KVM 交換
- H) LCD ドロワ側タッチパットの動作確認
- I) KVM カスケード時の動作確認
- J) PS/2 と USB の混在環境による動作確認

6. 構成図



7. 接続方法

- CL-1200M(LCD ドロワー)と CS-1758(KVM スイッチ)間は、ドロワ同梱 PS/2 対応 2L-5202P ケーブルを使用しますが、CS-1758 のコンソール側は USB 接続に限る為、UC-100KMA(USB コンバータ)経由にて接続します。
または、同梱ケーブルを使用せず、USB 対応 2L-5202UP ケーブルを代用することも可能となり、上記接続方法との間に差異はありません。
- KVM スイッチから各サーバ間は、PS/2 接続時と USB 接続時の二通りがあります。
PS/2 接続時は、2L-5302P を使用しますが、オプションの PS/2 エミュレータ CV-100KM との組合せにて接続可能。
USB 接続時は、2L-5302U を使用しますが、他の方法として PS/2 対応 2L-5302P と、USB コンバータ UC-100KMA との組合せにて接続可能。

8. 検証結果

A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認

・コールドスタート時

サーバ側シャットダウン後に接続されている全てのケーブル類(電源ケーブル含む)を切り離し、しばらくの時間(十数分~1時間)経過後に全てのケーブル類を接続し、スタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・ホットスタート時

サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウンとスタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・リブート時

サーバ側に対して、リブート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性

テキストエディタを起動し、各キーを押し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認致しました。

C) LCD 画面の表示

BIOS 画面、起動時画面、稼働時画面、スクリーンセーバー、ブランク画面の全てを確認しましたが、すべて正常に表示しておりました。

D) サーバ側接続に USB 対応ケーブル(2L-5302U)または、USB コンバータ(UC-100KMA)を使用し動作確認

RX600 S2 は USB 接続に限りますが、正常動作しておりました。また、PS/2 接続になる RX100 S3 と RX300 S2 においても、USB 接続にて検証した結果、正常動作を確認致しました。

E) Windows Server 2003 と Red Hat Enterprise Linux、それぞれの動作確認
RX100 S3 に対して、Windows Server 2003, Standard Edition (32bit) 使用時と、OS インストールにより、Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4 for x86) 使用時を、それぞれ動作確認致しました。どちらの OS 環境においても、正常動作を確認致しました。

F) サーバ側接続に USB コンバータ (UC-100KMA) を使用し正しくホットプラグ
RX600 S2、RX300 S2 および、RX100 S3 のサーバ稼動時に USB コンバータを数度抜き差し致しました。サーバ側の USB ホットプラグが正常動作し、正しく再認識することを確認致しました。

G) PS/2 エミュレータ (CV-100KM) 使用時のサーバ無停止による KVM 交換
RX300 S2、RX100 S3 のサーバ側キーボード・マウス接続ポートに、PS/2 エミュレータ (CV-100KM) 経由にて KVM スイッチ (CS-1758) を接続し、サーバを稼動します。サーバ側デバイスマネージャのキーボードとマウスを表示した状態で、PS/2 エミュレータ (CV-100KM) から KVM スイッチ (CS-1758) を切り離し、そのままサーバ側が稼動していることを確認しました。また、別の KVM スイッチ (CS-1754) を接続し、サーバ側がハングアップすることなく、正常動作していることを確認致しました。よって、仮に KVM スイッチ側に保守が必要になったとしても、PS/2 エミュレータがサーバ側に接続されていることにより、サーバ無停止による KVM 交換が可能となります。

H) LCD ドロワ側タッチパットの動作確認
サーバ側のデバイス認識にて、LCD ドロワ側タッチパットを OS 標準の「PS/2 互換マウス」として認識しておりました。タッチパットの全ての動作において、正常動作を確認致しました。

I) KVM カスケード時の動作確認
CS-1758 または CS-1754 の 1 台構成時とカスケードによる 2 台構成時にて、サーバ操作に対する動作確認を致しましたが、どちらの構成時も差異は無く、正常動作を確認致しました。

J) PS/2 と USB の混在環境による動作確認
CS-1758 に対して、PS/2 対応ケーブル (2L-5302P)、USB 対応ケーブル (2L-5302U)、PS/2 対応ケーブル+USB コンバータ (UC-100KMA)、それぞれを接続しサーバ操作に対する動作確認を致しました。PS/2 と USB の混在環境による構成時において、正常動作を確認致しました。

9. お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-16-6 タツミビル 803

Tel: 03-5323-7170 Fax: 03-5323-2181 Email: support@atenjapan.jp URL: www.atenjapan.jp